

写真・島唄・食べ物…「五感で受け止めて」

奄美の世界観 感じて

横浜

写真家山中さん作品展



山中さんが奄美の作品展を故郷・横浜で開くのは今回が初めて—横浜ZAIM

鹿児島・奄美群島にある世界観「マブライ」。それを神奈川でも感じてもいいたいと横浜に生まれ育った写真家が3日から横浜ZAIM（横浜市中央日本大通）で作品展を開く。島に通つて撮り

ためた写真に加え、島唄の歌い手らのライブも企画。五感で奄美と触れる場を目指して奄美と触れる場を目指している。

この写真家は製作プロダクションの代表も務める山中順子さん(37)。00年夏、映画の

「百歳」写真展。これまでに100歳を上回る島の人たち、延べ200人以上をレンズに収めてきた。その中から約70人の「生命をつけている」表情を並べる。

もう一つの「コーナー」では、

味わったり、五感で受け止めてもらおうと、自然や生活ぶりなどの写真とともに、島の神事に関する展示や食べ物などを用意。さらに女優らをゲストに招き、「語り」や「島唄」なども予定している。

山中さんは「ハマの子である私が、奄美のハマを感じたことを、訪れた人にも感じて正午～午後8時）。4日午後7時は奄美大島生まれの唄者・朝嶋郁恵さんのライブを無料。問い合わせは045-272-5941まで。

(南井徹)